

平成 19 年度試験研究成果書

区分	普及	題名	品種 りんご 9月下旬に成熟する着色良好な赤色品種「岩手7号」		
[要約]りんご「岩手7号」は9月下旬に成熟する赤色品種である。樹姿は開張性、樹の大きさおよび樹勢は中程度で、果皮を被う色は濃紅色から暗紅色、果汁多く、酸味が穏和で食味良好である。赤色系としては全面に着色し良好な品種である。					
キーワード	品種	りんご	岩手7号	園芸畑作部	果樹研究室

1 背景とねらい

本県で栽培されているりんご品種は、「ふじ」の割合が約40%と高く、晩生種に偏重した構成となっている。近年、「千秋」の栽培面積が減少したことから、早生種収穫以降中生種収穫前の9月下旬熟期の優良品種が望まれている。また、県北部・高標高地帯では「ジョナゴールド」や「ふじ」の熟期が遅れることから、中・晩生の優良品種開発が期待されている。そこで、品種ならびに栽培特性に優れた岩手オリジナルりんごの中・晩生の優良品種の育成を目標とし、選抜を行った。

2 成果の内容

(1) 来歴

「つがる」×不明(平成3年交雑)

(2) 特性概要

ア 栽培の特性

(ア) 樹姿は開張性、樹の大きさおよび樹勢は中程度である(表1)。

(イ) 開花期は、「ふじ」とほぼ同時期である(表2)。

(ウ) 熟期は、育成地(北上)において9月下旬である。「つがる」より遅く、「ジョナゴールド」より早く、「千秋」とほぼ同時期である(表3)。

イ 果実の特性

(ア) 果実の外観は形状が円、玉揃いは中、大きさは原木で250~300g前後である(表3、4)。現地試験の高接ぎにおいては350gを超える事例もある。

(イ) 果皮を被う色は濃紅色から暗紅色で全面に着色する(表1)。

(ウ) サビの発生は少なく、まれに蜜が入り、果汁の量は多い(表1)。

(エ) 糖度は13~14%(Brix.)、酸度は0.3~0.4g/100mlであり、酸味が穏和で食味良好である(表3、図1)。

3 成果活用上の留意事項

(1) 収穫果の日持ち性は、普通冷蔵で約1ヶ月、常温で10日程度と推察される(表4)。

(2) 果汁の多少については、生産地、収穫時期により多少変化することがある。

(3) 受粉親和性に関わるS遺伝子型はS₃S₉である。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

ア 適応地帯：県内全域

(2) 期待する活用効果

ア 早生種と中生種の収穫の端境期に成熟することから、赤色系品種のリレー出荷が可能となり消費拡大につながる。

イ 収穫、選果場における集荷および選果のピークを分散し、労力分散につながる。

ウ 普及見込み面積：50ha(目標年度：H27)

5 当該事項に係る試験研究課題

(830) ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発

(3000) いわて特産中晩生種の交配育成(H14~H22、令達)

6 参考資料・文献

平成13~18年度 岩手県農業研究センター 果樹試験成績書(一部未定稿)

平成16年度 試験研究成果(研究)「りんご育成系統のS遺伝子型の同定」

7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 品種特性

品種	果色	樹姿	樹勢	形状	揃い	肉質	果汁	甘酸	渋み	香気	みつ	収穫前 落果
つがる	鮮紅色	中間	中	円錐	中	中	多	甘	無	少	無~少	多
岩手7号	濃紅~暗紅色	開帳	中	円	中	中	多	甘	無	少	少	無~少
ジヨゴ-ルト	濃紅色	中間	中	円	良	粗	多	酸	弱	少	無	少

注) 調査は、果樹試験成績書及び平成19年の果実を総合的に判断し、「種苗法、りんご特性審査基準形質の定義と計測方法」により評価した。

表 2 開花期の生態

年	品種	樹齢	開花始	満開期
平成17年	岩手7号	10	5/6	5/14
	ふじ	13	5/8	5/15
平成18年	岩手7号	11	5/11	5/15
	ふじ	14	5/11	5/15
平成19年	岩手7号	12	5/8	5/11
	ふじ	15	5/9	5/12

注) 台木：岩手7号、ふじともにM.9。

表 3 果実品質

年	品種名	樹齢 (年生)	満開日 起算日数	収穫日	調査 果数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
平成16年	つがる	11	117	9/1	10	304	13.7	13.1	0.27
	千秋	6	138	9/25	10	301	12.9	14.2	0.41
	岩手7号	9	134	9/17	10	280	13.5	14.0	0.40
	ジヨゴ-ルト	13	154	10/8	10	360	12.9	14.6	0.48
平成17年	つがる	12	122	9/12	10	315	12.8	13.2	0.26
	千秋	7	135	9/29	10	292	14.0	14.1	0.41
	岩手7号	10	143	10/4	10	275	13.5	14.0	0.34
	ジヨゴ-ルト	14	155	10/14	10	342	13.4	14.8	0.48
平成18年	つがる	13	124	9/15	10	336	12.3	13.1	0.24
	千秋	8	135	9/29	10	253	14.7	15.0	0.50
	岩手7号	11	137	9/28	10	242	15.0	14.8	0.32
	ジヨゴ-ルト	15	149	10/11	10	365	16.2	14.6	0.55

注) 台木：岩手7号、つがる、千秋はM.9、ジヨゴ-ルトはM.26。

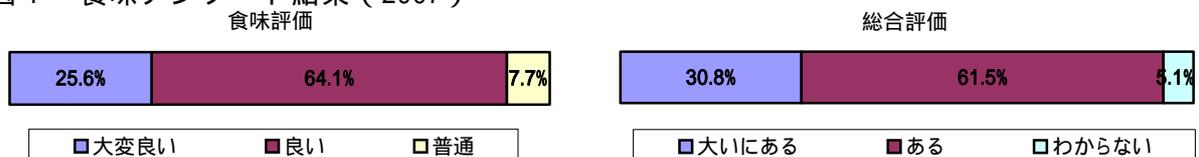
表 4 貯蔵果実品質(2007)

保存条件	調査日	調査 果数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	デンプン 反応指数
常温 (平均 14.6)	10月1日	5	263.2	13.66	13.6	0.25	1.6
	10月9日	10	276.7	11.79	13.2	0.21	0.3
	10月19日	10	252.0	8.19	14.0	0.19	0.0
	10月30日	10	314.0	6.20	13.3	0.16	0.0
低温 (4)	10月1日	5	263.2	13.66	13.6	0.25	1.6
	10月9日	10	262.9	13.22	13.3	0.21	1.1
	10月19日	10	291.8	14.07	13.0	0.22	0.9
	10月30日	10	279.5	12.82	13.8	0.17	0.7

注) 収穫日：平成19年9月28日。高接ぎ(台木：M.9)の果実を調査。

注) 可能食味限界を硬度12lbs前後とし、貯蔵限界とした。

図 1 食味アンケート結果(2007)



注1) 収穫日：平成19年9月25日。食味日：平成19年9月26日

注2) 調査対象：39名(農業農村指導士、青年農業者、りんご生産者、果樹関連団体、岩手県職員)